

議会だより

# 京丹後



(丹後町平)

表紙写真は、峰山町の岡田良博さんにご提供いただきました。

◎ 今回の議会だよりは3月定例会の内容を中心にお伝えします。

2月25日から3月29日(33日間)の会期で開催。当初予算、補正予算、条例や計画など、58件の審査を行いました。

## 6月定例会の予定

● 議会へ傍聴にお越しく下さい。

- 6月10日 本会議(招集日)
- 6月22日 本会議(一般質問)
- 6月23日 本会議(一般質問)
- 6月24日 本会議(一般質問、議案審査)
- 7月5日 本会議(最終日)

— 令和4年8月発行 議会だより京丹後の表紙写真(発行時期にあった写真)を募集いたします —

● お問い合わせは議会事務局へ (TEL. 0772-69-0010)

# 356億3000万円 (対前年比 3億1000万円 0.9%増)

## 丹後王国「食のみやこ」スケボーパーク建設等に

# 附帯決議 全会一致 可決!

- 長寿食サミットフォーラム (仮称) 準備経費 234万円
- 京丹後産コシヒカリによるSDGs貢献事業 246万円 他

討論意見  
P7参照

## 当初予算の特徴的な事業

かせぐ

**ふるさとブランド推進事業** 6078万円 (前年度:3176万円)

ふるさと納税を通じたシティプロモーションによる「地方創生」を実現する。

**京丹後食のふるさとづくり創造事業** 1877万円 (前年度:911万円)

京丹後産食材の魅力向上及び PR と消費喚起を行う。

**丹後王国タワー等跡地整備事業** 1億6878万円 (新規)

道の駅 丹後王国「食のみやこ」の旧展望台を解体撤去し、跡地活用を検討する。

**デジタルポイント導入事業及び消費喚起事業** 1億4173万円 (新規)

ポイント制度の共通化を図り、キャッシュレス決済の促進と消費喚起を図る。

**京丹後市観光公社の支援** 9081万円 (前年度:5223万円)

高度な PR・マーケティング手法を実践して自主財源の確保・増加を図る。

インバウンド再開への取組強化により、豊かで誇りの持てる観光地づくりを推進する。

はぐくむ

**グローバル人材育成事業** 1348万円 (前年度:548万円)

多様な価値に触れる機会を創出し、将来グローバル社会で活躍できる子どもたちを育成する。

**「丹後学」の充実** 1515万円 (前年度:977万円)

地域の「人」「環境」「文化」学習を通じて郷土への誇りと愛情を育て、自己の生き方・在り方を考える。

やっつける

**子育て環境整備応援プロジェクト** 620万円 (新規)

地域全体で子どもを育て、支える仕組みづくりを促進する。

**共助のための基盤づくり事業** 633万円 (新規)

2町をモデルに身近な相談所として「(仮称)地域共生ステーション」を市民局に設置する。  
地域づくりと連動した支え合いの仕組みづくりを推進する。

つなぐ

**脱炭素社会推進事業** 4943万円 (前年度:131万円)

再エネ導入促進エリア設定等に向けたゾーニング等の合意形成を図る。  
地域新電力設立に向けた検討・運営体制の構築を目指す。

3  
月  
定  
例  
会

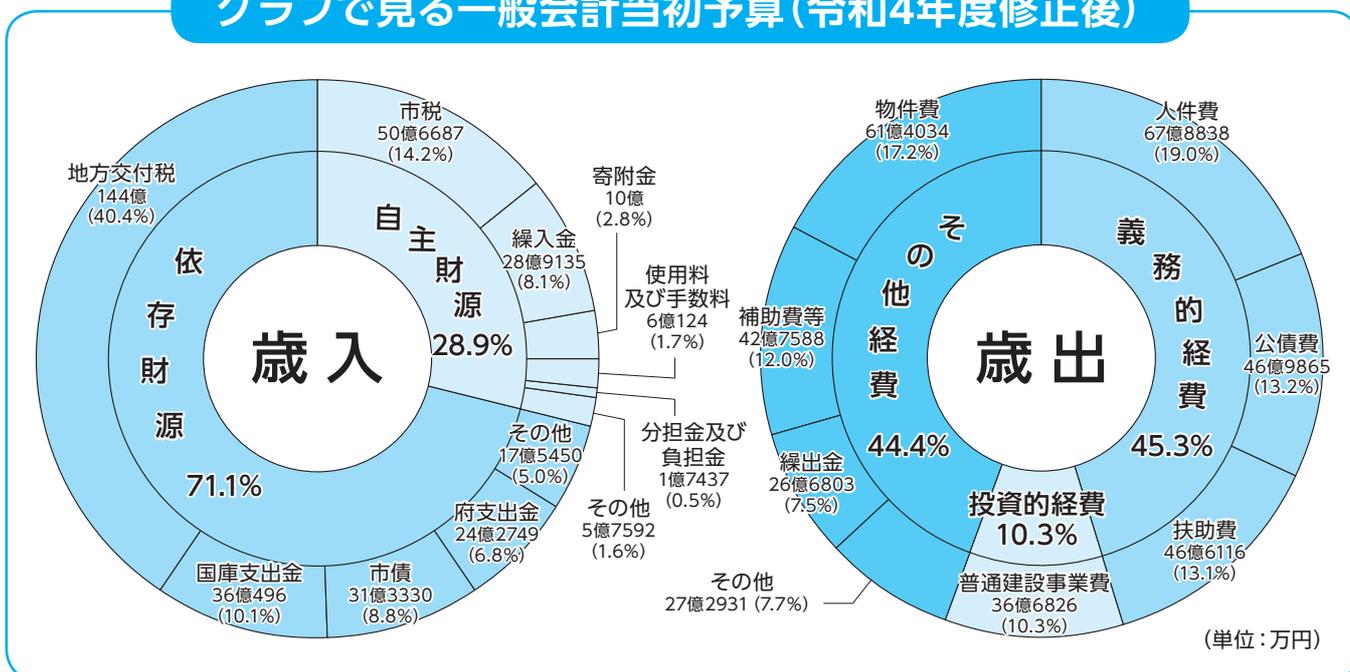
# 令和4年度当初予算額 一般会計

## 5つの事業1269万円を減額する

# 修正予算可決!

減額事業 ■ ふるさと創生職員の副業型採用 579万円  
 ■ SDGsポイント発行経費 150万円

グラフで見る一般会計当初予算(令和4年度修正後)



## 令和4年度一般会計予算に関する附帯決議【要約】

- デジタルポイントの導入について、本事業の効果的な実施と公平性の観点から、多くの市民利用と協力事業者の参画が必要不可欠である。しかし、電子決済を利用していない市民や導入していない事業者も多く存在する。
  - デジタルポイント発行に際して、市民が利活用する上で公平性に留意すること。
  - 市民に対する事業周知と利用促進に向けたリテラシー教育等を検討すること。
  - 事業者に伴走支援を実施するなど、導入・運用しやすい環境を整備すること。
- 丹後王国展望台等解体撤去事業及び跡地活用事業を同時に行うことで、有利な財源の合併特例債を活用することは理解する。一方で跡地のスケートボード施設整備は、関連団体等との事前調整が不十分である。
  - スケートボード施設整備ありきではなく、ゼロベースで幅広く検討すること。
  - 丹後王国を本市観光の中核施設として、関連団体等と十分な協議を行うこと。

# 主な課題と論点！

## 総務分科会

- 新たな地域コミュニティの推進方法は
- 副業型ふるさと創生職員は当初目的に沿わない
- SDGsポイントは逆効果の誘引となるのでは



京丹後市の未来に向けた地域づくり・人材育成を

### 新たな地域コミュニティ推進事業

**問** 地域マネージャーの委託内容とその必要性は。

**答** 組織の体制づくりや事業を通じ課題解決をマネジメントする人材。将来的には地域で組織の一員として活動することも視野に入れる。

**問** ローカルXプロジェクトの要点は。

**答** 地域の中で、若者や女性に関心を持ち、自発的に参画できる場づくりや地域密着型事業などの企画運営を想定している。

### ふるさと創生職員制度推進事業

**問** 本来、移住定住することが主旨ではないのか。

**答** 移住だけでなく、京丹後市のために力を注ぎたいという方を移住型と副業型に分けた。

**問** 副業型で職員を採用する理由は。

**答** 事業者やコンサルタントへの委託ではなく、「移住はできないが地方のために力を発揮したい」と考えている方の、知見やアドバイスをいただくためである。

### SDGs推進事業

**問** SDGsポイント事業の内容は。

**答** 市主催事業に参加すればポイントを付与する計画。ポイントは買い物などに利用できる。

**問** ポイントをもらえるからやる。といった動機付けに変わってしまうことになるのではないか。

**答** 1ポイント1円なので、その考え方が出てくる可能性がある。SDGsの普及啓発のポイントとして捉えている。運用の中で説明していく。

## 分科会の主な意見

### 【副業型ふるさと創生職員】【SDGsポイント発行事業】（減額修正）

- ◎ 副業型は就業後の本市への移住が期待できず、仕事を通じた本市職員との「化学反応」も期待できない。
- ◎ 市がポイント付与することは、動機づけに逆効果ではないか。ポイント付与の在り方について見直す必要がある。

### 【総務分科会としての意見】 委託事業について

- ◎ 単純な作業効率アップや費用対効果での委託は理解できる。一方で、市民から地域の課題を聞き、政策に結び付ける業務などは、行政としての経験値や課題解決能力を蓄積するためにも、正規職員が行うべきである。

# 主な課題と論点！

## 文教厚生分科会

- 長寿食サミット全体の目的は
- 子育て支援に関する継続的な活動はできるのか
- まちの将来を担う未来人材の育成は



グローバル社会で活躍できる人材の育成

### 長寿食サミットフォーラム(仮称) 開催準備事業

**問** フォーラム全体の予算規模は。

**答** 令和5年度にサミットフォーラム開催予定。令和4年度は準備経費。今後の細かい予算規模は、詰めていない。

**問** 調査委託料として100万円をかけて何を調査するのか。

**答** 世界の長寿食を研究されている先生方の力を借りたい。また、世界の食の潮流を分析している民間業者とも連携の検討をしていく。

### 子育て環境整備事業

**問** 社協が行っている地域の子育てサロンとの明確な違いと補助額の根拠は。

**答** 社協の事業と比較していない。100万円の根拠は、府の事業である「地域交響プロジェクト交付金」を参考にした。

**問** 3年間の補助終了後、補助金が無駄にならないよう自走化ができる仕組みの検討は。

**答** 申請段階で、将来的な見通しを持った事業計画であることを要請する。過剰なサービス提供等があれば、事業の再検討を指導する。

### 保幼小中一貫教育推進事業

**問** 丹後学をどのように改訂するのか。

**答** 新しく探求学習にSDGsの視点を盛り込む。

### グローバル人材育成事業

**問** 本市の教育に必要と判断した経緯は。

**答** グローバル社会で活躍するためには、意欲的に考え、自己肯定感を高める取り組みが必要だと考える。

**問** STEAM教育の具体的な内容は。

**答** 大学による専門的な検証や地元企業との連携を行い、教科を横断した考えで学びを深める。

## 分科会の主な意見

### 【長寿食サミットフォーラム(仮称) 開催準備事業】(減額修正)

◎ フォーラムの予算規模など不透明な部分が多く、各課との連携が不十分である。また、この事業は市民へのメリットが感じられず、予算は認められない。

### 【子育て環境整備事業】(附帯意見)

◎ 地域全体で子育てができる仕組みが進むとして評価したい。一方で、補助金の終了後、地域の子育て支援が自走できるように、しっかりとした伴走支援をすべきである。

# 主な課題と論点!

## 産業建設分科会

- デジタルポイント導入による市内経済の促進は
- 王国タワー撤去、跡地活用はコンセンサス不足
- 京丹後産コシヒカリのPR効果は



丹後王国タワー

### 地域経済促進・地域消費喚起事業

**問** デジタルポイント導入の効果は。

**答** デジタルポイントで市内の買い物ポイントの一本化を目指す。デジタル通貨導入は環境が整えば対応する。

**問** 継続事業となった場合の交付金の状況は。

**答** 3年間は地方創生推進交付金を充てる。登録店舗が増えることで、市の負担は減少する。

### 京丹後食のふるさとづくり創造事業

**問** 京丹後産コシヒカ리를「おにぎりアクション」でどうPRするのか。

**答** SNSを活用し、給食や部活などでおにぎりを食べる機会にハッシュタグをつけ発信していただく。

**問** 全国で同時に実施され、埋もれるのではないか。

**答** 全国で、市としては3番目になる。優位性を獲得して、京丹後市の露出を図りたい。

### 丹後王国「食のみやこ」支援事業

**問** スケートボード場整備になった経緯は。

**答** オリンピックを契機に注目が集まり、要望書も提出され、公益性から幅広く利用していただける。

**問** 関係団体とコンセンサスが取れているのか。

**答** 関連団体には伝えた。幅広い検討をお願いしたいとの意見があったが、コンセンサスは取れていると考える。

## 分科会の主な意見

### 【地域経済促進・地域消費喚起事業】【丹後王国（食のみやこ）】（附帯決議）

- ◎ 電子決済は世界の大きな流れだが、市内の高齢化率は高く、ポイント付与や、地域デジタル通貨導入など高齢者のスマートフォン活用が不可欠であり、講習会などを並行して行うべきだ。
- ◎ 長年の懸念であった王国タワー撤去について、有利な財源を活用する計画だが、跡地活用についてコンセンサスが得られていない。観光の中核施設がどうあるべきか議論が必要だ。

### 【京丹後食のふるさとづくり創造事業】（減額修正）

- ◎ おにぎりアクションとして、一投稿100万円のPR効果との説明だが根拠に乏しく、全国で大企業も含めた同様のアクションの中で埋もれてしまいPR効果は薄いと考える。

# 議会は5事業について減額する修正案を提出

数多くの新規事業について議論が集中し、5事業（1269万円）を予備費へ充当する減額修正案を提出し、賛成多数で可決した。

議会、減額修正案を提出（以下対象事業）

○副業型ふるさと創生職員  
〔579万円〕

月4回のリモート勤務（1回2万円の謝金）による職員採用経費。

○SDGsポイント発行経費  
〔150万円〕

SDGs活動を行う市民に対する買い物に使用できる自治体ポイントの発行。

○長寿食サミットフォーラム（仮称）開催準備事業  
〔234万円〕

ヘルスツーリズムの推進を見据えたフォーラムを令和5年に開催するための準備経費。

○水酸化推進支援事業  
〔60万円〕

リースバック制度により賃貸借契約後に水酸化した際の補助事業。

○京丹後産コシヒカリによるSDGs貢献事業  
〔246万円〕

SNSを活用したおにぎりをきっかけとする市民運動による京丹後産コシヒカリPR事業への委託する経費。

予算決算常任委員会としての附帯意見

子育て環境整備事業について

この事業は、子育て世帯が多世代と交流できる場所の提供、情報交換や相談、常時開設でいつでも行ける拠点等、幅広いものとなっている。補助額の上限は100万円、既存の子育てサロンと比較して大きい。補助期間終了後も活動が継続できることが子育て環境の充実につながる。

よって補助金額の妥当性、また自走化できる事業計画かどうかについて厳正に審査を行うこと。そして、各団体が自走できる取り組みとなるよう市は伴走支援をする必要がある。

意見交換

○織物の産地振興には京丹後ちりめん祭の支援が必要。

○学校は社会性を育む場でもある。コロナ禍で喪失している社会的な学習機会を補う視点が不足している。

○新規のノートパソコンで災害時の活用や外部勤務が可能となる。地域や市民と対話の時間をさらに増やすことを求める。

○新規事業が119件と多い。従来の事業がおろそかになることや、事業実施が目的化しないか危惧する。職員が疲弊しているのは、市民サービスの向上はない。

反対討論

○当初予算は市の政策の力点があつき見えぬもの。国の施策待ちの補正対応ではなく、厳しい市民の暮らしを支える予算配分を求める。

○コロナの影響に対して、市民への支援がまだまだ不足している。また、新規事業が多く、職員への負担増による市民サービス低下を懸念する。

○市政に求められているのは、賃金の引上げ、医療・介護・年金の充実、米価暴落への対策、中小零細業者を守ることである。抜本的な転換が必要だ。

賛成討論

○地域間競争に打ち勝ち、本市を浮揚させようとする予算だ。職員を育てて、着実にふるさと創生を図るべき。地区要望など生活基盤整備にも配慮を求める。

○本市の人口構造から若者、特に若い女性はマイノリティだ。積極的な働きかけにより多様な力が活躍できるまちを目指しており、評価すべき。

○ウィズコロナ時代の市民生活を支えながら、デジタル化など持続可能な社会を目指した積極的な当初予算であり、期待できる。

○職員交流によるふるさとブランド推進や、社会福祉協議会との連携拡充など評価する。

〔賛成16・反対3で  
修正可決〕



充実した子育て環境に伴走支援を

## 令和4年度京丹後市一般会計予算

## 会派の意見

## 丹政会

一般会計予算の審査では、5つの事業を減額する修正案が提出され可決。2つの事業についての附帯決議も全会一致で可決する異常事態。多くの課題が浮き彫りとなった。

## 事業の組み立て方に課題

今回、減額修正の事業を含め119件が新たに提案されるなど、新規事業と委託事業の多さが目立つ。

新しい事へのチャレンジは評価する一方で、その事業は本当に市民にとって必要な事業なのか、費用対効果は見込めるのか、現在の職員体制で足りるのかなど、事業の組み立てにおける見込みの甘さや関係団体等との協議不足など、疑義は拭えない。

## 市民協働のまちづくり

委託事業増は、裏を返せば現在の職員体制では実施できないということだけでなく、職員の資質向上の機会損失となる。

また、「市民と協働してまちづくり推進に努めなければならぬ」とするまちづくり基本条例第17条の観点からも課題と考える。

## 人口減少と行政の役割

人口減少が進む中、効果的な予算執行のため、行政事務の再構築は必要不可欠である。本年度から閉域モバイル網を使い全国どこからでも庁舎の仕事が可能となる。コロナ禍や災害時などに限らず、リモートワークを活用することで、地域に入つての勤務も可能であり、より市民との連携を図ることができる。

地域や民間ができないことを行政がするのみならず、市民と共に地域や民間が進むべき方向性を示すのも行政の役割である。

## ●所属議員

代表 池田 恵一  
谷津 伸幸  
平井 邦生  
東田 真希  
中野 勝友  
和野 晋

## 新政会

新政会は、会派の綱領を明示し、『政策を中心とした同一の理念を共有』すると意思表示した議員と会派を引き継いだ。よって、相互の意見を尊重し、少数意見の尊重と多数意見の採用を合議とし、民主的な合意形成を図ってきた。

その上で、令和4年度の目標に『ウイズコロナ新時代への変革と挑戦。安心な暮らし・地域経済の活性化・京丹後市の魅力の最大化』と掲げ、市長に対し16項目にわたる会派の要望書を提出した。主な内容は、市民第一主義とし、産業・生活・社会インフラ整備を求めた。まずは、コロナ禍の市民の安心安全を施策で示すこと。次に、地域産業の振興を図る施策を積極的に推進し、経済と暮らしを支えること。次に、地域の身近な声に耳を傾け、持続あるまちづくりの推進を図る予算編成を求めた。

令和4年度当初予算

は、356億円で最大規模の予算編成が組まれた。地域経済の活性化に向け、商工農林水産の各分野への事業者支援策を図っている。また、子育て支援から高齢者の誰もが安心安全で暮らしやすい環境整備の充実が図られており、評価する。教育では、グローバル社会に対応するための施策が図られ期待する。総じて積極的な予算編成と評価できる。

しかし、分科会審査で、修正案が5事業、附帯決議が2事業、附帯意見が1事業とした修正案を可決した。議会としての二元代表制の本来の姿であり、議会の権能を示した。

今後も「市民第一」と「政策集団」を理念とし、掲げる目的目標の実現を念頭に、積極的、能動的な議員活動・会派活動を行っていく。

## ●所属議員

代表 櫻井 祐策  
富田 恵輔  
多賀野 一彦  
川戸 一生

## 日本共産党

日本の経済を「もろくて弱い」ものにした、新自由主義の弊害を克服してやさしい社会への転換が必要である。その観点から地方自治の本旨に基づき、くらし福祉第一の市政運営が求められる。多くの新規事業が事業目的に沿わない、行方が見えない、実施のめどが立たないなど審査の中で、問題点が焦点化され減額修正した。提案に至るプロセスの不十分さを指摘する。

### ① 住民の要望を反映

ワクチン接種、宿泊業等の事業者への緊急支援、久美浜小学校区での放課後児童クラブの増設、小規模インフラ整備予算の増額など評価する。

### ② 職員の処遇改善と公契約条例の制定を

介護や保育などの処遇改善が行われたが不十分。830人の会計年度任用職員の処遇改善は待ったなし、改善を求める。

公契約条例の制定と設計労務単価の引上げで公契約労働者の賃金を引き上げ改善すべき。

### ③ 社会保障削減から市民のくらしを守る

市民の収入は減り厳しい。2000人の特養待機者、経済的理由で介護サービスや医療が受けられない、などの実態がある。もつとケアに手厚い予算配分が求められる。

### ④ 米価暴落、農業危機へ抜本的予算を

米販売価格は生産費を5000円も割り込み、農家から、稲作を続けられない、と悲鳴が上がっている。最大の農業危機に対し抜本的な営農支援策が求められている。

### ⑤ 消費税減税、インボイス制度の中止を

多くの事業者や市民から消費税減税やインボイス中止の願いが寄せられている。その声を国に上げるべきである。

#### ● 所属議員

代表 田中 邦生  
平林智江美  
橋本まり子

## 創明

令和4年度一般会計予算は、総額356億3000万円で市政発足後最大規模となった。

歳入において、自主財源比率が28.3%と昨年度より3.1%アップしたことは、この2年間のふるさと納税拡大事業の成果であると評価する。

歳出の特徴は、新規事業が119項目ととても多いことだ。新しいことへの挑戦は大切だが、十分な検討と確かな見通しがあるのか、職員の負担は大丈夫なのか、大きな危惧を持った。

結果として新規事業4つを含む5つの事業が減額修正され、新規事業1件に附帯意見、2件に附帯決議となったことは、私たちの危惧を裏付けるものになった。各委員会審査で執行部の追加説明が繰返され、総務委員会から、「委託事業が多過ぎる」と意見も出た。

一方で、従来の継続課題への対策が弱い。観光

は本市のメイン産業で新事業が目立つが、その一番の資源である海岸線の美化事業は、漂着ゴミの回収問題も枯れ対策も具体的な強化はない。

SDGs関連事業が多いが、それが本来の「持続可能な地域作り」に確かにつながるのか、流行言葉だけの軽い感じを受ける。今年度事業の「脱炭素ロードマップ」は未だにその全容が示されず、新年度予算に再エネ促進事業はいくつもあ

るものの、ロードマップとの関連も目標も明らかではない。地域新電力への予算もあるが、再エネ、省エネ、CO2削減の具体策がどう展開されるのかは見えない。脱炭素と言

うが、基盤となる森林整備の取り組みも貧弱だ。新しいモノを欲張りすぎて、現場の混乱や中途半端な事業で市民の批判を受けるようなことにならないか、心配である。

#### ● 所属議員

代表 永井 友昭  
浜岡大二郎

## 政友会

過去最大規模で、意欲的、積極的な予算である。コロナ後を見据え、さらに厳しくなる地域間競争に打ち勝ち、本市を浮揚させようとする強い意気込みがあり評価する。

自主財源確保のため、ふるさと納税の目標額をさらに高く掲げて取り組もうとしているが、市役所の総力を挙げて実現していたきたい。

児童福祉施策では引き続き充実が図られようとしている。また、男性の育児休暇取得促進のためのワークショップ経費も計上され、評価する。

産業振興では、活イカ活用や食品加工支援センター整備など、食を基盤とした六次産業化を進める取り組みに期待する。農林水産業は自然環境の保全はもとより、歴史文化、丹後学の普及、観光振興、地域コミュニティの構想と深く結びついている。重要な分野だ。地域協働型小規模公共事業では、公共事業が

120%から150%と増額され、大幅に伸びている。しかし市民生活の現場ではさらにコンクリートや鉄筋を多く必要としている。道路、橋、河川改修、安全施設整備のためもつと力を入れ、百年、二百年続くまちづくりを目指すべきだ。

行政手法として、業務委託が過度に多用されている。これでは職員が育たない。職員をスペシャリストにすべきだ。SDGsでは本来の目標がかすみ、手段や手法がイベント化している。生存の基盤である「SDGs15・陸の豊かさを守ろう」を最優先事項として取り組むべきだ。

庁舎増築棟整備は本市誕生以来の懸案であるが補正予算として編成された。合併特例債の期限切れが迫るなか、議会挙げて悔いのない新庁舎を形あるものにした

#### ● 所属議員

代表 水野 孝典  
和田 正幸

# 京丹後市学校適正配置基本計画を策定

## 陳情3件、請願1件、署名提出など1年に及ぶ議論

平成23年度策定の「京丹後市学校再配置基本計画」が令和2年度で終了した。今後も少子化、学校の小規模化が想定されることから、学校再配置の実績と検証等を踏まえ、引き続き、今後10年間の小中学校の適正配置のあり方を示す計画を策定するもの。

### 主な質疑

**問** 再配置後の地域コミュニティについての総括は。

**答** 新しい小学校区で、学校と地域が連携しながら地域の活性化に取り組んでいる。

**問** 地域の拠点として学校を残す検討は。

**答** 地域の思いは承知しているが、子どもの教育環境を第一に考え、複式学級は解消する基本方針は変えるべきではないと考えた。

**問** パブコメを募集しなかった理由は。

**答** これまでの再配置計画の基本方針を引き継ぐため、取る必要がない

と判断した。

**問** 適正配置の実施において「理解が深まったと判断された場合」とあるが、何ををもって判断するのか。

**答** 就学前を含む保護者への丁寧な意見の聞き取り、地域への説明、理解など総合的に判断していく。

**問** 宇川小存続を求める署名についての認識は。署名なく受け止めなければならぬ。



宇川小学校



吉野小学校

### 意見交換

○前計画で統廃合した学校で教室が足りなくなる事例が起きている。教室数にゆとりをもたせ、併せて上限30人学級を実現できる環境を整備すべき。

○良くないとされる「複式学級」だが、現在は、全国で小規模校教育の実践が文科省からも高い評価を受けている。この状況を文厚委員会は積極的に研修を行うべきであった。

○学校は第一義的に子どものための学びと育ちの場である。豊かな人間関係を築いて育ち合うという観点から、一学級の児童数は二桁必要。

### 反対討論

○前計画の期間満了による見直しでありながら、パブコメをとらないなど提案のプロセスが不適切。これまでとこれからの10年間を当事者の視点から検証するためにはパブコメは必要不可欠だった。

○前期10年間の「複式の解消」「統合後の子どもや地域の実態」「現場の先生の思い」など丁寧な総括が不十分である。委員会でも複式学級について現地調査や学習などの審査が深められなかった。地元住民の「学校を残して」の圧倒的民意を置き去りにしての提案。教育委員会の議決のない資料での住民説明など瑕疵がある。

○宇川地域は地元をあげて複式でも頑張るから今は残して欲しいと言っている。これは文科省の「手引」の小規模校を残すケースに該当する。それでもなくす理由がわからない。

### 賛成討論

○前計画の検証として概ね良かったとする意見が大半。次の世代を担う児童が、より良い環境、条件で教育を受けることは今後の本市にとっても大切なことである。

○子どもの自己実現や社会で生き抜く力を養うには、適正規模の教育環境が必要。少人数では選択肢が限定的になる。多様な考え方に触れ切磋琢磨する環境が重要だ。

○要望があつてからでは遅い。実施までの教育について誰が責任を持つのか。本計画は一義的に、子どもの教育環境に責任を持つという市の強い思いが込められている。

○学校がなくなっても地域の子どものためにできること、地域が活性化する方法はある。学校はまず子どもにとつてどうかを考えるべき。また複式になった場合の教職員の負担への懸念や、子どもにできるだけ等しい教育環境を整えるべき。

【賛成13・反対6で可決】

# 市政を問う

## 3月定例会 代表・一般質問

代表・一般質問は、令和4年3月9日、10日、11日の日程で行い、14人の議員が質問し、市長等に答弁を求めました。

掲載は質問順、内容は本人から提出された要約原稿です。また、ケーブルテレビ11チャンネルでの放送や京丹後市議会ホームページで配信していますのでご覧ください。

パソコンやスマートフォンで  
議会の中継・録画が視聴できます

京丹後市議会

検索

<https://www.city.kyotango.lg.jp/shigikai/>



### 代表質問

風力、「不安が払拭されない」  
場合は

市長 答申通りのお願いをする



創 明  
永井友昭

**問**「脱炭素ロードマップ」の内容は。

**市長** 省エネ、再エネ、域内循環で2050年実質0を目指す。

**問** 地域新電力とは。

**市長** 地域内外の再エネによる電気を購入し市内に供給していく会社。電気の地産地消、域内循環が目的だ。

**問** 風力発電の審議会答申では、災害等の不安が払拭されない場合は事業の中止も含めて見直しを行うことある。その場合、市長はどうするのか。

**市長** 答申通りのお願いをする。

**問** 前田建設は発電所を投資物件として売却する可能性ありと答えた。また、事業者と地権者の契約は地権者が不利なものが多い。どう考えるか。

**市長** 事業者の変更は何らかの影響を発生させる。事業用地の契約は住民だが、責任の不明確や地権者の不利益は良くない。

### 市の諸課題

**問** 旧浜詰小学校跡地はゴミ捨て場状態だ。強い措置が必要では。

**市長** 当事者に撤去を求めてきた。法的に強制撤去は難しい。今後撤去を求める。

### 米軍基地問題

**問** 市内の病院で起きた米軍関係者とのトラブルとは。

**市長** PCR検査の結果は陰性の連絡なしに病院に証明書を取りに行けないが、行ってしまい、その中に陽性者がいた。再発防止を米側へ強く求めた。



百年以上現役の小脇水力発電所

## 代表質問

## 給食費の負担軽減は

市長  
4年度にしっかりと検討して  
いきたい



丹政会  
池田 恵一

**問** 市長のマニフェストについて問う。活のあるまち京丹後について2年間でどこまで達成できたのか。

**市長** この2年間はコロナ対策に全力で取り組んだ。その中で定量的に判断するのは難しいが50パーセントは着手できたかと思う。

**問** 子育て世代が助かる制度について、ひとり親家庭や低所得者世帯の給食費の負担軽減について問う。

**市長** 令和4年度には一定の措置を考えていたが、全ての児童生徒に措置をすると1億8千万円の財源が必要となる。また、1人200円の負担にすると毎年4千万円の財源が必要となる。大切な施策であるので次年度に向けて幅広くしっかりと検

討していきたい。

**問** 中高一貫教育導入について、一般的には一つの学校として6年制でやるパターンと中・高併設でやるパターン、中・高で連携するパターンと3つの方法があるが、市長の目指す中高連携はどのパターンになるのか。

**市長** 今までの型にとらわれない型を検討していきたい。

**問** 京都府との協議も含めてハードルが高いと思うが。

**市長** 京都府も府立高校の在り方ビジョンの中で地域の拠点として検討していくとしていく。この機会にしっかりと協議していきたい。

## 学校ICTの成果と課題について

**問** 学校現場でのタブ



低所得者世帯への給食費の負担軽減は

レットの活用について現状と課題について。

**教育長** タブレットの活用により授業の質的変換が計られ、教職員の負担軽減にもつながっている。課題としては、タブレットを持ち帰った時の家庭でのインターネット環境の整備などがある。

## 代表質問

## 審議会答申に対する市長の認識はどうか

市長  
真摯で精力的な審議結果と受け止めた



政友会  
水野 孝典

**問** 本市における風力発電事業計画については、多くの市民の懸念や不安の声、さらには中止を求める動きもあり、審議会答申はこれを裏付けるものとなった。地すべり地や花崗岩質の地質・地形の上に、風力発電計画はとうてい不向きだ。審議会答申に対する市長の認識はどうか。

**市長** 各分野の専門家や地元区長さんたちによる真摯で精力的な審議結果である。総論各論を精査し共有して、答申どおりの意見書とした。事業は地球環境への貢献という側面や地域経済への波及効果もあるが、他方で環境への負の影響も多大であり、トータルで評価する必要がある。

**文化財や文化資料の保存活用をどう図るか**

**問** 本市は歴史の層が非常に厚い地域だ。近代においても歴史を物語る有数の文化財や資料がある。震災画や震災記念館、峰山小学校本館、旧丹後織物工業組合本館、参考館などの保存活用はどうするのか。また市史の今後の活用はどうか。

**教育長** 震災画は公開展示が可能な場所を検討している。震災記念館は耐震性能が低く、莫大な経費を要するため根本的な修理は考えていない。峰小本館は耐震診断の結果、躯体の鉄筋コンクリート強度が低く、耐震性能も測定できない。記念館と同様、文化財的価値は高いが、現状維持に努めている。旧丹後織

物工業組合本館は、市役所増築棟整備との関係で、地区や民間の使用、売却、撤去も含め幅広く検討していく。参考館を保存するためには解体修理が必要で、神社や府と協議する。京丹後市史は一部完売で在庫分は教委や古代の里資料館で販売中。図書館でも閲覧可能。



京丹後市史

代表質問

文化芸術の振興に財源措置と推進体制を

教育長

予算や推進体制を振興計画に位置づける



日本共産党  
田中邦生

**問** 文化芸術振興審議会  
で文化芸術振興計画の  
検討をしていただいて  
いるが、重要なことは  
計画の実施へ必要な財  
源措置とリーダーシッ  
プを発揮する市の推進  
体制が必要と考えるが  
どうか。

**教育長** ウイズコロナ、  
アフターコロナにおい  
ても心豊かに充実した  
生活が実現できる。そ  
んな文化芸術活動の推  
進を議論していきたく  
い。今年の8月頃に審  
議会の答申をいただく  
予定である。

審議会では文化芸術に  
関する予算の重要性に  
ついて意見が出されて  
いる。推進体制も文化  
団体等との連携など、  
効果的な推進体制を計  
画に位置づける。

**水田活用直接交付金の  
見直し中止を**

**問** 水田活用直接交付金  
の見直しは、水路や畦  
があっても、5年間、水  
張りが行われない農地  
は除外、飼料用米の複  
数年加算の廃止などで  
ある。突然の減額は営  
農への大打撃となる。  
国に中止を求めるとき  
であるがどうか。

**市長** 今回の見直しは  
農業への影響が出る可  
能性があると考える。  
水田のさまざまな活  
用実態を踏まえ、農家  
の声を聞き影響を検証  
した上で府と一体とな  
って農業振興につな  
がるよう要望を行う。

**脱炭素化へ有利な地方  
債の活用を**

**問** 施設の脱炭素化に  
向け、LED照明の導  
入などの市単独事業に

対して有利な事業債が  
ある。積極的に活用す  
べきだがどうか。

**市長** 施設の脱炭素化  
を図る上で、製造が終  
了している水銀灯のL  
ED化は早急に進める  
必要がある。令和4年  
度、この地方債を活用  
して、中学校、体育館  
の照明および社会体育  
館4施設の照明LED  
化事業を実施する。



急がれる文化芸術振興拠点の施設改修

代表質問

356億円という最大規模の予算編成で留意した点は

市長

豊かさを持続発展させる  
考えで予算化した



新政会  
櫻井祐策

**問** まちづくりに対する  
目的、目標にどのよう  
な成果を見通した予算  
編成をしたのか。

**市長** 予算編成の視点  
は3つある。まず、「稼  
ぐ力」は、ふるさと納  
税を通じた財政力を涵  
養すること。また、デ  
ジタル化による環境づ  
くりに力点を置いた。

次に、「支える力」は、  
生活の場から民間・経  
済活動を生み、活力が  
育まれることに力点を  
置いた。次に、「ひとの  
力」は、将来の宝とし  
て、地域資源を活用の  
ためにも、人を呼び込  
む、人を守るためにも  
将来に向けた投資とし  
てインフラ整備に力点  
を置いた。よって、市  
民誰もが、社会経済の  
各分野で、自立自走し  
てまちづくりをけん引  
していくような予算編

成を行った。

**今後の教育環境の在り  
方について**

**問** コロナ禍により、オ  
ンライン授業を行うに  
当たり、学校間で運用  
方法に差が出ないため  
に、一定の運用規定を  
設けては。

**教育長** 大枠の運用の  
仕方については検討が  
必要と考える。同時に  
ハイブリッド型授業の  
在り方も検討する。

**問** 丹後学の更なる推  
進を図る考えは。

**教育長** 課題解決型の  
学習の中で、SDGs  
の視点を含めた教科横  
断型の丹後学のモデル  
カリキュラムの改定を  
2年間、進めていく。

**問** 廃校利用の考え方に  
ついて、校舎全体では  
利活用まではハードル  
が高いが、教室ごとに

部分貸しができるよう  
な活用方法についての  
考えは。

**教育長** 学校跡地利活  
用に関して、防犯、管  
理面の課題もある。し  
かし、地域のきめ細か  
な対応や一層の有効活  
用に資する考え方であ  
り、共同利用の運用面  
や幅広い施設活用の方  
り方を検討していく。



廃校の教室を部分貸しができよう期待する

一般質問

コロナ対策制度  
わかりやすく使いやすく

市長  
たえずわかりやすい広報・  
周知に努めたい



日本共産党  
橋本まり子

**問** コロナ対策にあてられた予算が、年度末で減額補正されている。本当に必要としているところに届いているか。市民にわかりやすく使いやすい制度や、説明、周知の工夫が不可欠。原油高騰の影響を受けている全ての業種への支援があるが。

**市長** 申請漏れがないよう取り組んできた。10万円の子育て世帯臨時交付金では9月以降の離婚世帯や、DV被害など個別の例にかかる範囲で個別に対応してきた。就学援助費は条件の合う家庭には使っていた。足りない場合は補正対応もする。お知らせの配布など工夫も検討したい。原油高騰に対する各業種の支援は国の動向を注視し進めたい。

スクールバスの委託事業者に対しては燃料費を委託費から外し、市が負担する方向に。

**学校の教育条件の改善**  
**問** 学校のトイレ改修が進められているが完了のめどは。前倒しは考えられないか。  
**教育長** 令和6年に完了予定。

**市長** トイレは大切。財源が絡むができるだけの前倒しに努める。  
**問** 中学校女子トイレ個室のせめて1カ所に生理用品の配置を検討すべきだが。

**教育長** 学校の状況を聞き、対応を検討。  
**問** 学校のタブレット持ち帰り時の通信費用は家庭負担。義務教育無償が基本であるが。

**教育長** 全国的な課題で、国への要望もして



市スクールバスの燃料費は市の負担に

いる。

**学校適正配置**  
**問** 計画が可決されたが、宇川小をはじめ統合廃合該当校の地域保護者が存続を望んだ場合、存続校への支援は。  
**教育長** 教育委員会の総力をあげて今ある学校の教育環境を職員配置も含め応援する。

一般質問

小学校休業等対応助成金制度  
利用の推進を

教育長  
すべての保護者にお知らせ  
を配布している



日本共産党  
平林智江美

**問** 市内では、学校でのコロナ感染がクラスターとなり、多くの保護者が休業しなければならなくなっている。保護者に対して「小学校休業等対応助成金」制度がある。国会の質問で明らかになったが、支給実績が大変少ない。個人申請もできるようになったので、保護者の方へ利用できるように広報を行うべきであるが。

**教育長** 府を通じて周知の依頼があり、学校、こども園などすべての保護者にお知らせを配布している。  
**市長** コロナ対策室の設置で、フリーダイヤルで相談できる。事業者、商工会などへもお願いしている。支援策パンフレットも発行している。

**問** 学校のホームページでも知らせているが、期限が6月30日まで延期となった。再度のお知らせが必要であるが。

**教育長** ホームページは、更新するよう提起する。  
**大型風力発電について**  
**問** 「鳥類をはじめとする生物多様性が損なわれ、自然環境が破壊される大規模開発は本末転倒である。対策が講じられない風力発電建設には反対する」と野鳥の会から要望が出されている。市長の見解を問う。

**市長** 環境アセス調査においては、審議会や専門家の意見を聞いてしっかり対応していく。また、ゾーニングマップを作るにあたっては専門家、市民の声を丁寧

に聞いていく。  
**問** ゾーニングマップを2年前倒しで作成することのだが、地域住民の声はどう反映させるか。

**市長** 1年目でマップ案を作り、2年目に地域の方や事業者も一緒に検討し、見直しを行っていく。



コロナ対策支援パンフレット

一般質問

高齢者の見守りにしても  
DX推進が必要だ

市長  
通信環境など市全体として  
議論していく



丹政会  
東田 真希

**問** 高齢者の見守りについて課題やその取り組みは。

**市長** 高齢者を地域で支える担い手の減少が課題。地域、民生委員、社協など連携し、顔が見える環境作りに取り組む。

**過去の一般質問の検討状況について**

**問** 障害者の雇用は進んだのか。

**市長** 今年度正職員で1人、会計年度任用職員7人を採用し、法定雇用率を達成した。

**問** 給食で地元の米を使った米粉への検討は進んでいるのか。

**教育長** 小麦粉を全て米粉というのは難しい。米粉に向く料理に使用しているが、今後も検討していく。

**地域における女性の参画の少なさについて**

**問** 地域の総会など意思決定の場に女性の声が反映されていないが市の課題認識は。

**市長** 区行政に対して市が介入することではない。新たなコミュニティにおいて女性や若者の参画を進められるよう取り組んでいる。

**庁舎増築棟整備基本計画について**

**問** 浸水の懸念、峰山ICの開通、DXの普及、人口減少、職員数の減少、当初の案より膨れ上がった改修費を含む50億円超の建設費など課題がある中で、この計画は合併特例債、増築棟ありきではないのか。市民の声はしっかり聞けたのか。

**市長** 23年度から市民



スマートスピーカーで高齢者の見守り

の代表であるまちづくり委員会で10回議論をしていた。分庁舎方式の非効率性について解消する必要があると答申を受けた。庁舎の在り方について、その背景を引き継ぎながら市民による委員会での答申を重ねてきた。その経過からも合併特例債ありきではない。

一般質問

観光関連事業者への状況調査と結果はどうか

市長  
全業種に実施している  
非常に打撃が大きい



丹政会  
和田 晋

**問** 本市事業者を支援する給付金事業を望む声があるがどうか。

**市長** 厳しい状況の時は必要だと認識している。タイミングを持って取り組んでいきたい。

**問** 迅速に集客事業を取り組むための予算化はできているか。

**市長** コロナの打撃を補うだけでなくコロナを乗り越えていく形で、積極的な観光地づくりを展開していきたい。

予算提案では観光公社に二千万円の広告宣伝費を計上し、これまでにない規模での誘客を図る。

**久美浜湾について**

**問** 不法係留の問題について進捗はどうか。

**市長** 規制看板増設の予算を確保したと回答があった。府からは「市

と連携し、係留調整等の対策協議を行ないたい」との発言があり協議の場をもっていただくよう求めている。

**問** 市民の海岸清掃を支援する取り組みとして、車両の貸し出しや清掃情報の発信が必要だと考えるがどうか。

**市長** 海岸清掃の人員確保は、地元区でも望んでいる可能性がある。どのような形で支援できるのか、車両の貸出しについても併せて検討していきたい。

**問** 水質改善に向けて原因究明に向けた水質調査を実施するべきではないか。

**市長** 久美浜湾の水質は大切な問題。京都府と調整し、連携をしながら努めていきたい。



【注意】通学路にサル出没中

一般質問

市内公共スポーツ施設の  
修繕や改修について基準は

危険性や緊急性の高いもの  
から最優先に対応している

教育長

**問** 数年前から大宮社会  
体育館の天井の結露で  
床が滑りやすく危険と  
聞く。危険性が高く改  
修が必要では。

**教育長** 結露対策の必  
要性は認識している。  
改修は他施設との優先  
順位を判断しながら、  
調査や改修について検  
討していく。

**問** 市内公共スポーツ施  
設のネット予約は利用  
日の前月1日の0時か  
ら先着順で受付となっ  
ている。また、市外の  
方も同時受付のため、  
数秒の差で市民が予約  
できない場合もあると  
聞く。健全な時間帯で  
の受付開始や、市民が  
優先的に予約できる仕  
組みが必要と考えるが  
検討は。

**教育長** 平成20年度か  
ら京都府の公共施設案  
内予約システムを導入

している。今後更新を  
考えていると聞いてお  
り、課題を京都府へ伝  
えていく。

高齢者福祉について

**問** 本市の発行する介護  
サービスのしおりで  
は、利用料の表記が10  
割の金額で記載されて  
いる。実際の負担は1  
割〜3割であり、誤解  
を招き、利用控えをさ  
れるのではと懸念する。  
利用料の記載について  
見直しが必要では。

**市長** 具体例を記載す  
るなど分かりやすいよ  
う改善する。

**問** 独居で要介護認定さ  
れ、介護ヘルパーの支  
援を受けておられる方  
から介護用品支給事業  
のような支援を求める  
声を聞くが検討は。

**市長** 現在は検討を考  
えていない。



新政会  
富田 恵輔

**問** 独居の高齢者のゴミ  
出しについて問題を聞  
く。行政の支援が必要  
と考えるが検討は。

**市長** 高齢者へのゴミ出  
し支援は必要になる。  
社会福祉協議会が中心  
となり生活支援サービ  
スの検討会議で間人地  
区をモデル地区として  
実態把握を行う。



市内の体育館で利用者数が最も多い大宮社会

一般質問

震災後百周年に向け震災記  
念館の保全及び利活用は

意義、意味のあることなの  
で前向きに検討したい

市長

**問** 丹後震災記念館の  
保全にかかる費用は。

**教育長** 詳細調査は行っ  
ていないが、建築研究  
所の目視による調査の  
結果は、5億円程度か  
かるという見解である。

**問** 保全するとした時の  
財源として過疎対策事  
業債の活用は。

**教育長** 保全後の利活  
用ということが前提で  
あり、議会の承認も必  
要だが、活用は可能で  
ある。

**問** 5年後、百周年に向  
けて、震災記念館の保  
全及び利活用は。

**市長** 震災の記憶を継  
承していくためにも百  
年の節目に向けて、過  
疎対策事業債なども含  
め財源の問題を真剣に  
検討し、可能性を探っ  
ていきたい。再来年京  
都府に文化庁が移転  
することで、百周年に

向けての支援要請を  
強くしていきたい、さまざ  
まな意味、意義のある  
記念館の保全及び利活  
用について教育委員会  
を中心に検討していき  
たい。

**問** 本市独自の教育とし  
て丹後学があるが、そ  
の中で丹後大震災につ  
いて、どう教え、伝え  
ているのか。

**教育長** 本市全ての6年  
生にジオパークの学習  
の中で、地震の概要や  
当時の児童の作文など  
での事前学習の後、郷  
村断層の見学を行い、  
現場での視覚による学  
習を行っている。現在、  
その学習を5千8百人  
以上の児童に行ってお  
り、今後も継続してい  
く予定である。

**問** 本市で今、震度7の  
地震が起こった場合の  
被害想定と、耐震化対  
策ができていた場合の  
減災効果の想定は。

**市長** 死者数2950  
人、全壊棟数3万52  
50棟という想定であ  
る。耐震化率が100%の  
場合、減災効果は死者  
数が約80%減、全壊棟  
数が約75%減という想  
定となっている。



新政会  
多賀野一彦



現在の丹後震災記念館

一般質問

犯罪被害者支援について

市長  
条例に沿って、しっかりと支援を行う



新 政 会  
川戸 一生

**問** 京丹後市犯罪被害者等支援条例を受けて、被害者やその家族にどのような支援をするのか。

**市長** 見舞金の支給をはじめ、市役所全体で支援を行う「犯罪被害者等支援連絡会議」を設け、相談体制や市民の理解を深める活動に取り組む。

**問** 個人情報取り扱いで支援につながる事が難しい中で市の取り組み体制は。

**市長** 平成24年6月に、京丹後警察署と連携協定を締結し、警察からの情報により、一刻も早く必要となる支援を行う。

**問** 犯罪被害者等支援連絡会議は、どの時点で設置し、どの時点で解散するのか。

**市長** 被害を受けた時から再び平穏な生活を営むことができるまで、心のケアや相談については、被害者の方からの終りの申し出があるまで支援を続ける。

**問** 犯罪被害者支援の対応は個々により異なるが、市の考えは。

**市長** 助け合い支え合いを大切に、社会全体で支援する相談体制や環境をつくる事が重要と考える。

自治と協働のまちづくりについて

**問** 各地域からの提言書は、市に対して積極的に提言を行うものがあるが、市はどのように受け止めているか。

**市長** 各地域からの政策提言は、各地域の課題や特色を踏まえた提言であり、市政を進めていく基本であると受け止めている。



6町の提言書

**問** 新コミュニティのまちづくりを進めるには、市民局の強化が必要と考えるが。

**市長** 地域の課題をしっかりと受け止め、地域の拠点となる市民局の役割が重要である。市民局の機能維持と充実を図り、地域と一体となり進めていく。

一般質問

政治は結果責任だ  
人口減の見通しは

市長  
人口を将来ある時点で増加に転じさせたい



創 明  
浜岡大二郎

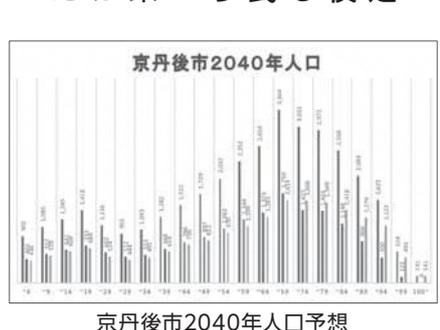
**問** 合併以来18年、毎年人口減少だ。政治は結果責任だ。市長の考えを聞きたい。

**市長** 人口減少のスピードを押しとどめ将来ある時点で増加に転じていくようにしたい。産業振興と子育て環境をしっかりと行い夢のある街づくりをすることが最大の減少対策だ。一昨年の国勢調査5万860人を踏まえ府の見通しを参考に改定目標値を作成中だ。

**問** 住民が地域の将来人口に強い危機感を共有し主体的に対策を考え行動する。行政はこれを支援し問題解決にあたる体制づくりこそ極めて重要だ。地域の対策の結果が市の人口と考えるのがいいか。

**市長** 同感だ。コーホー

**問** 本庁舎増築棟建設は20年後の人口は推定3万2千人だ。特例債に眼が眩んでいるとしたか考えられない。市民投票で直接賛否を問う考えはないか。



**問** 人口減少対策では若夫婦の子連れでのUターンが最重要課題だ。地域から学校を奪うことが若夫婦の流出に直結し将来人口をも棄損している。子育て環境の充実、日本一とは矛盾しないのか。

**市長** 学校の統合問題は子供たちの教育のあり方として考えている。

**問** 旧浜詰小跡地について旧浜詰小グラウンドがゴミ捨て場となっている。ドクターヘリの発着場として有効活用すべきだ。

**市長** 現在、解決に向けて鋭意努力中だ。

一般質問

市長

まち全体のためにも重要  
市も取得促進に取り組み

ワンオペア育児解消に向け  
父親育休の浸透が重要では



無会派  
鳴海公軌

**問** 市役所の父親育休の状況はどうか。

**市長** 取得実績には課題がある。管理職研修や男性育休ガイドをつくる。また、長期になれば職員を採用する。

**問** 教職員の父親育休の状況はどうか。

**教育長** 配偶者出産休暇は9割を越えるが、長期休業はほぼない。地方公務員の育休条例は随時改正する予定。

**問** 育休には職場の体制充実が必要だが。

**教育長** 職場の人的保障はセットと考える。府に対し代替講師の任用を強く要望する。

**問** 民間企業への普及活動は。

**市長** 事業者に対し実態調査を令和4年度から実施していく。

**問** 男女共同参画推進者表彰制度を機能させる

べきでは。

**市長** 実績は10年間で2件。今後は市が積極的に情報を集める。

**問** 育休取得のキャリアへの影響はどうか。

**市長** 本市においては育休で人事評価は下げない。むしろ育休等の経験は市民協働のまちづくりの面でも重要な財産となる。

**子育てコンシェルジュ事業の導入について**

**問** はぐはぐの来所件数が急増しており、市民から相談しにくいと聞く。体制の充実を。

**市長** 昨年度比3倍の来所相談実績があり、助産師と連携するなど充実させる。

**問** 子育て支援を適切につなげる子育てコンシェルジュ事業の導入を求めるが。

**市長** 現体制で外部連携はできている。

**使用済紙おむつによる環境負荷軽減について**

**問** 推計ではおむつゴミの排出量は本市で年間1750トン。再生利用が効果的では。

**市長** 紙おむつ再生利用は、広域で実施すれば効果的。他方で実現には課題が多い。今後研究する。



父親育休の浸透がまち全体の幸福度を高める

議案に対する各議員の賛否一覧表

賛否の分かれた案件を記載しています。

会派名	議員名	議案の可否	丹政会					新政会				日本共産党			創明		政友会		無会派	無会派
			池田 惠一	谷津 伸幸	中野 勝友	東田 真希	平井 邦生	和田 晋	櫻井 祐策	川戸 一生	多賀野 一彦	富田 恵輔	田中 邦生	平林 智江美	橋本 まり子	浜岡 大二郎	永井 友昭	水野 孝典	和田 正幸	松本 聖司
京丹後市学校適正配置基本計画の策定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×
京丹後市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○
京丹後市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
京丹後市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度京丹後市一般会計予算	修正部分	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
	修正部分を除く原案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度京丹後市後期高齢者医療事業特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○

《凡例 賛成：○ 反対：× 退席：退 欠席：欠 除斥：除》 金田琮仁議員は議長職のため表決権はありません。

## 陳 情

陳情名	陳情者	結 果
10年間の再配置事業の検証を深め、より良い教育を求める陳情書	丹後労働組合総連合 議 長 藤原 利昭 事務局長 尾崎 敏	みなし不採択
「小さくても輝いている宇川小学校の存続を求める要望署名」提出について	宇川小学校の統廃合を考える有志の会 呼びかけ人代表 増田 光夫 呼びかけ人代表 三野 広海	みなし不採択
「適正配置基本計画案」の見直しを求める陳情	奥丹後地方教職員組合 執行委員長 岡 みゆき	みなし不採択

※ みなし不採択… 議決された議案や請願と同じ内容の議案や請願を審議する場合や、議決により請願、陳情の趣旨が達成された、また達成困難な場合に、すでに議決された結果に応じて判断をすることを、「みなし採択」、「みなし不採択」という。

## 政 務 活 動 費

令和3年度の政務活動費については、下半期の活動を終了し、下記のとおりの実績となりました。

会 派 無党派議員	下半期（10月～3月）政務活動概要	下半期分 交付確定額	令和3年度 年間交付実績
丹政会	・11月8日～9日 研修活動 東京都「エネルギー計画の概要、環境アセスメントやゾーニングなど、地元自治体が留意すべきこと」など ・11月17日 要請・陳情活動 大阪府、京都府「山陰近畿自動車道等整備促進要望」	187,980円	187,980円
新政会	・11月17日 要請・陳情活動 大阪府、京都府「山陰近畿自動車道等整備促進要望」	10,460円	10,460円
創 明		10,460円	10,460円
政友会		10,460円	10,460円
松本議員		10,460円	10,460円
金田議長		10,460円	10,460円

※ 交付にあたり提出された交付申請書、調査研究等計画書、調査研究等報告書、実績報告書、その他添付資料につきましては、市議会ホームページ（<https://www.city.kyotango.lg.jp/shigikai/>）及び、市議会事務局で閲覧いただくことができます。

## 決 議 文

令和4年3月3日の本会議で、ロシアのウクライナ侵攻に対して下記のとおり決議しました。

### ロシアによるウクライナ侵攻を非難する決議

ロシアは、去る2月24日にウクライナへの軍事侵攻を開始し、子どもたちを含む一般市民の多くが避難生活や国外退避を余儀なくされ、また、死傷者が増え続けている。

これらは、ウクライナの主権及び領土の一体性を侵害するとともに国際社会の秩序や平和を脅かし、明らかに国連憲章に違反するものであり、断じて許容できるものではない。また、その影響はヨーロッパにとどまるものではなく、アジアを含む国際秩序を揺るがす重大な事態であり、決して看過できない。

よって、京丹後市議会は、ロシアによるウクライナへの攻撃や主権侵害に対し厳重に抗議するとともに、ロシアはこの軍隊を完全かつ無条件で即時に撤退させ、国際法に基づき誠意を持った対応をとることを強く求める。

また、政府におかれては、ウクライナに在住する邦人の安全確保に全力を尽くすとともに、関係各国及び国際社会との緊密な連携のもと厳格かつ適切な対応を講じられるよう、強く要請する。

以上決議する。

令和4年3月3日  
京都府京丹後市議会

# 市民の 声

## 機（ハタ）織り一筋から学んだ タテ糸とヨコ糸の話

丹後町 木本 正久

機（ハタ）をおり続け  
て六十二年間が経過し  
ました。高校の同級生  
は、織物業から引退、  
そしてまた半数は、こ  
の世を去りました。

そのような環境の中  
で織物を継続している  
ことは、我ながら「す  
ごい」と、自分を誉め  
たい気持ちにもなりま  
す。普通に考えれば、  
八十歳にもなれば仕事  
を辞めて、畑仕事をの  
んびりとやっているところ  
ですが、約十年前  
に「タテ糸とヨコ糸」  
の働きや、関係等に目  
覚めさせられました。

織物の組織を学んで  
いくと、新商品づくり  
に役に立つことは勿論  
のこと、人と人との関  
係についても、当ては  
めて考えられて面白い  
ものです。そんなこと  
を繰返し、繰返し考え  
ておりました。

ある時、竜宮プロ  
ジェクトの活動の中  
で、工房見学を訪れて  
いただいたお客様の前  
で話す機会があつて  
「タテ糸とヨコ糸」と  
いう短い話を致しまし  
たら、案外と興味を  
持っていたいただきました  
ので、物づくり同様に  
精進したいと考えてお  
ります。

先日、丹後ええも  
ん工房のグ  
ループ七名  
で、京都ギ  
フトショー  
に出展して  
きました。

回を重ねる  
ごとに、仲  
間の皆様の  
出品する商  
品の質も向  
上して、多  
くの出会い  
も生まれま  
した。私は、



今回の出品について  
は、三名の職人チーム  
を立ち上げて、京都の  
デザイナーさんにも加  
わっていたいただき、織と  
組織の技術を生かした  
「モノづくり」ができ  
たと考えております。  
仲間と共に取り組んで  
いますので、毎日が面  
白くて張り合いも生ま  
れます。

今後の目標として、  
一、常に新しいモノづ  
くり  
二、関わった人すべて  
が利益を得る  
三、厳しい中にも、楽  
しい環境等々  
それらが叶えられた  
時、後継者の問題も  
自然解消するのでは  
ないでしょうか。  
それが、織物一筋継  
続中の、私のささやか  
な願いです。

## あ と が き

コロナウイルスパンデミックは新種のウイ  
ルスが次から次へと現れ収まる気配もない  
ところに、2月24日には国連安全保障常任  
理事国のロシアが突如ウクライナに侵攻し、  
大勢の市民を巻き添えにするばかりか核兵  
器の使用もちらつかせるなど想定外の暴挙  
にでています。

3月定例会では令和4年度の予算審議が  
行われました。5事業が減額修正、2事業  
に附帯決議が可決され、1事業に附帯意見  
が提出されるなどこれまでにない予算審議  
となりましたが、市政発足後最大の予算を  
承認しました。

私たちの担当もこの号を最終にし、次回  
からは新しいメンバーでの編集となります。  
一年間のご愛読誠にありがとうございました。  
皆様のご健勝をお祈りいたします。



◎ 広報編集委員会

委員 池田 恵一  
” 東田 真希  
” 谷津 伸幸  
委員長 浜岡大二郎  
副委員長 田中 邦生  
委員 鳴海 公軌  
” 多賀野一彦  
” 和田 正幸

